

V 郷土をひらく

1. ゆたかなくらしをもとめて

(1) 舟運で栄えた塩川町

今からおよそ370年ほど前の江戸時代に、川（阿賀川）を利用して荷物を運ぶことが考えられました。それまでは道路を使って荷物が運ばれていましたが、品物がいたんだり、多くのお金がかかったりすることから、舟で荷物を運ぶことが考えられました。

とてもむずかしい場所もありましたが、西れき1680年代になってようやく塩川と津川（新がた県）の間が舟で通れるようになりました。ここを利用して、米や会津の特産物（麻糸・たばこ・ぬり物など）が大阪方面へ運ばれ、また、大坂からは塩や綿・反物・瀬戸物・大豆・茶などが運ばれてきました。

西れき1600年の終わりごろから1700年の半ば（今から250年ほど前）ごろ一番多く運ばれ、塩川もこのころ大変栄えました。

